

留学報告書

KMITL タイ・ラボラトリートレーニング研修

学部学科・研究科専攻	総合理工学研究科 総合理工学専攻		留学時学年	大学院2年
留 学 先	国	タイ	大学/機関	モンクット王ラカバン工科大学
期 間	2025年8月6日 ~ 2025年9月4日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- ・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

レビュー論文またはそれに相当する文章の執筆

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9時～17時	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

配属先の研究室は、先生1人、学生0人であった。研究室は、別の研究室と折半して使用していた。その研究室も私の配属研究室と似ており、先生1人、留学生（パキスタン人）1人だった。受け入れ先の先生はお忙しいようで、滞在期間中1度しか会うことができなかった。執筆論文の内容は5つのセクションに分かれており、1セクションを1週間かけて取り組んだ。執筆した論文はメールに添付して先生へ送り、英文の修正や不足している情報など追加していただいた。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

バンコク市内を観光したり、タイ料理を食べたりして過ごした。大学の敷地内にある駅から、電車で約1時間かけて、ワット・アルンやグランドパレスなどの観光地を巡った。多くの観光客が訪れる場所は、英語表記や英語が通じるタイ人が多いので、1人の外出に不安になることはなかった。また、日本人が多く訪れる場所は、日本語の案内板やアナウンスがあった。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

研究室：理学部棟3階の1フロアが物理学科になっている。

食堂：1食40BAHT〜で食べることが出来る。基本的に食べ物は辛い。

コンビニ：寮の目の前にあるセブンイレブン。シャンプーなどの日用品の購入が可能。

屋台：大学構内や大学近くにある。寿司やたこ焼きなどの日本食を扱う屋台もある。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：

1 部屋を 2 人で使用した。ルームメイトとの生活に苦労する部分があったが、滞在 1 週間目でルームメイトが母国へ帰国した。残りの期間は、東海大生と同室だった。室内は非常にきれいで、机、イス、ベッド、ロッカーはそれぞれ 2 つずつ、エアコン 1 台、冷蔵庫 1 台と浴室がある。浴室にはシャワーとトイレがあるが、その間を仕切るカーテンなどは無かった。ホテルではなく「寮」なので、シャンプー、歯ブラシ、バスタオルなどを用意する必要があった。ベランダには物干し竿などがなくて、寮内にあるコインランドリーの乾燥機を使用するか、ハンガーや物干しラックなどを購入して干すしかなかった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと：**日本文化との違いを知ったり、体験したりすることが非常に楽しかった。特に印象に残っているのが、タイの映画館での体験である。映画本編の上映前に、公開予定の映画の広告などが流れる。これは日本と同じだと思う。映画の広告終了後、スクリーンにタイの王と女王の映像が映し出され、それとともにタイの国歌が流れた。これは日本には、無い光景だったので非常に興味深かった。
- **苦労したこと：**ルームメイトとの生活に苦労した。深夜 3 頃までスマートフォンのスピーカーで通話や動画を視聴したり、室内のトイレを詰まらせて放置したり、合わない部分が多くあった。幸いにも滞在 1 週間目で、ルームメイトが帰国したので部屋の変更までには至らなかった。ルームメイトとの生活リズムが合わないと感じると非常に苦労すると感じた。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) **語学力の向上：**渡航前より、向上したと感じる。日本語が通じる環境ではないので、必然的に英語を使っていた。お互い英語を母国語としない者同士なので、お互い学びあいながら英会話ができた。また、翻訳機などを使うことで、場面にあった英語のフレーズや言い回しを覚えることができた。
- 2) **専門知識の向上：**1 か月間、自身の研究の論文を検索し、目を通すことができたので、向上できたと感じる。
- 3) **自己成長など：**臆することなく行動できるようになった。聞き取れなかった内容を有耶無耶にせず聞き返したり、間違いを恐れず英語の会話に挑戦したりした。こうした経験で、自分自身にある程度の度胸がついたと感じる。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

現地の様子は、現地に行ったことのある人にしかわからないです。留学経験者などに質問や相談することを強く勧めます。また、研究室によって学生指導は落差があります。過度の期待は禁物です。

良いことも悪いことも、学べることは絶対にあります。留学に興味のある人は、ぜひ挑戦してください。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	0万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	
4	教材費		0万円
5	保険代		1.7万円
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		4万円
7	個人的な買い物		2万円
8	その他()		0万円
9	留学に関する費用(1 から 8 の合計)		7.7万円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		
11	留学に関する費用総額(上記 9 から 10 を引いた額)		7.7万円

